

TDU Agora



特集

台湾 中原大学で学術交流
～ジョイントフォーラム、国際学会GCBMEに参加～ 1

CONTENTS

今月の顔 土肥紳一教授 (システムデザイン工学部 デザイン工学科)	2	TOPICS	5
キラリ★電大生 理工学部 学生環境推進委員会	3	キャンパスよもやま情報、News	6
TDU LABO 計算言語学研究室 (未来科学部 情報メディア学科)	4	Information	11



今月の顔 土肥紳一教授と研究室の学生



ジョイントフォーラム参加者による記念撮影

特集

台湾 中原大学で学術交流

～ジョイントフォーラム、国際学会GCBMEに参加～
国際センター

11月30日から12月1日に台湾の中原大学にて、ジョイントフォーラム及び国際学会GCBME(Global Conference on Biomedical Engineering)が開催されました。

今年は医用工学がテーマで、安田浩学長と総合研究所の土肥健純特命教授、工学部から植野彰規教授、桑名健太准教授、理工学部から大越康晴准教授、田中慶太准教授、住倉博仁助教、国際センターからセンター長の宍戸真教授とスタッフ2名が参加しました。中原大学と本学の研究成果を発表するジョイントフォーラムは8回目を迎え、今年は医用工学分野の国際学会であるGCBMEと連携して行われました。



中原大学李副学長(右)と安田学長

ジョイントフォーラム

11月30日のジョイントフォーラムでは、双方で12名の教員が発表し、約100名の中原大学の教員と学生が参加しました。中原大学の医用工学を専攻している学生は、興味のある研究者の発表を聴きたいと集まってくれたようです。研究発表では活発な意見交換があり、フォーラム終了後は研究室の見学も行われ、交流を深めることができました。



植野教授による研究発表

学生が参加しました。学会には多くの中原大学の学生も参加・協力しており、大変賑やかな学会となりました。



土肥特命教授による研究発表

国際学会 GCBME

12月1日のGCBMEでは、安田学長がオープニングセレモニーでスピーチ、土肥特命教授と植野教授が研究発表を行いました。GCBMEには台湾以外にも、アメリカや日本、ニュージーランド、中国、シンガポール等から約300名の研究者や

現地到着から帰国まで、中原大学の教職員の方だけでなく学生の皆さんにもご案内いただき、非常に充実したイベントとなりました。中原大学と本学は、大学院理工学研究科学内推薦入試に合格した理工学部生が、中原大学のInternational Summer Programに参加するなど活発に交流しています。来年度のジョイントフォーラムは本学での開催となりますので、多くの教職員と学生の皆さんにご参加いただければと思います。

第17回情報科学技術フォーラム FIT 奨励賞を受賞

～プログラミング入門教育で受講者のモチベーション向上を目指す～



システムデザイン工学部
デザイン工学科

土肥 紳一 教授

第17回
情報科学技術フォーラム
FIT 奨励賞受賞



SIEM 開発

この度、第17回情報科学技術フォーラム FIT 奨励賞を受賞することができました。受賞した論文は、「Processingによるオブジェクト指向プログラミング入門教育のモチベーションの分析」です。

私の研究は、プログラミング入門教育を対象に受講者のモチベーションの向上を目指すものです。これを実現するためにSIEM (Systematical Information Education Method: ジーム) を情報環境学部で開発しました。情報環境学部情報環境学科の受講者は、ネットワーク、コンピュータ、プログラミング等に興味を持つ方が多くいます。一方、システムデザイン工学部デザイン工学科の受講者は、プロダクトデザインに興味を持つ方が大半です。

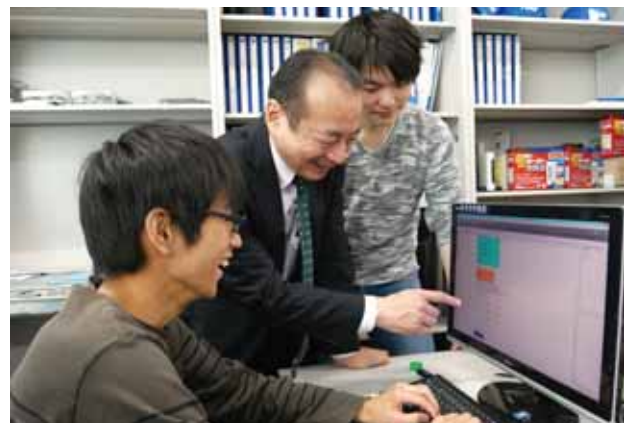
性質が異なる2学科に対して、オブジェクト指向のプログラミングの授業を行い、SIEMで分析しました。授業の中期における授業改善策は、情報環境学科では「自己コントロール度」の改善が、デザイン工学科では「愉楽度」、「成功機会度」の改善が提案されました。SIEMの分析によって、母集団の違いを示せたことが評価され受賞に繋がったようです。情報環境学科で培った教授法は、デザイン工学科にも継承しています。授業毎に理解度調査を目的としたアンケート調査は、次の授業の冒頭で結果をフィードバックし、デザイン工学科でも大変好評です。

学生に合った授業を

その他の受賞では、SSS2018最優秀発表賞、AXIES 2015最優秀論文賞、JSEE2013工学教育賞、AXIES2012優秀論文賞、PCC2008優秀論文賞、JSEE2003業績賞、1996年に私立大学情報教育協会賞があります。

プログラミングはとても面白い授業ですが、ノートPCを操作する必要があります。情報環境学科ではJava言語を採用しましたが、初学者にとって敷居の高い言語です。プログラミングの面白さに到達する前に、挫折する方が出てしまいます。

一方、デザイン工学科ではProcessingを採用しました。Processingはスケッチブックに絵を描く感覚で学ぶことができ、初学者にとって敷居の低い言語です。デザイン工学科の学生さんにピッタリ合っています。今後もSIEMを実践しながら、受講者のモチベーションの向上を目指します。



学生のモチベーション向上を目指す



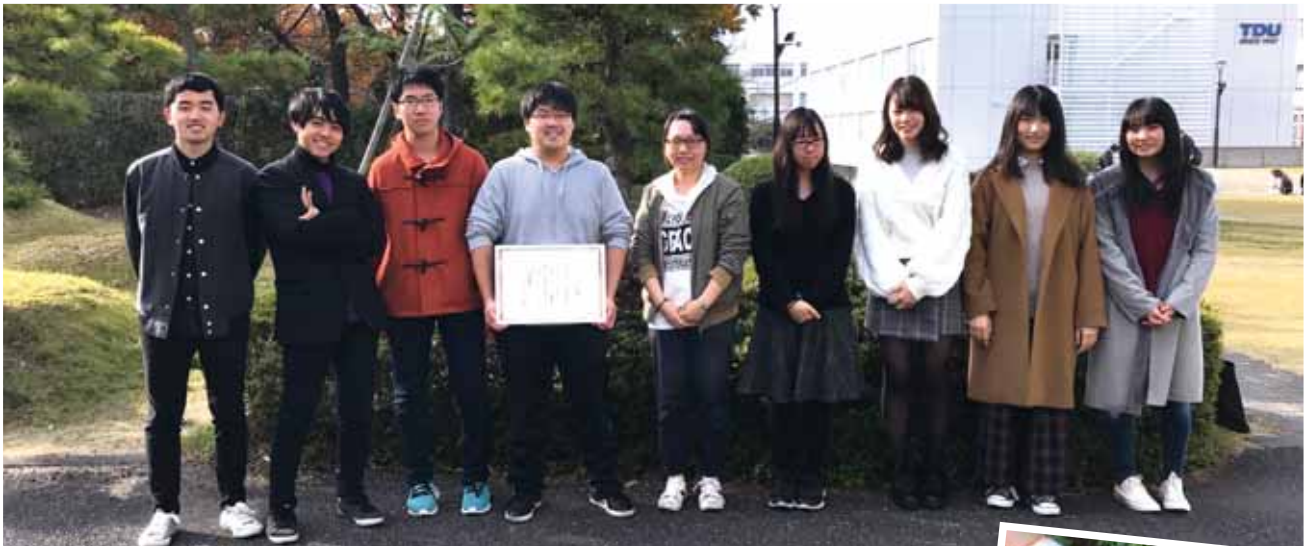
ホームページの内容を公開するためにプログラミングを組む

土肥 紳一 教授 プロフィール

(システムデザイン工学部 デザイン工学科)

Profile

1984年 3月	東京電機大学大学院 工学研究科 電気工学専攻 修了	
4月	東京電機大学 工学部第一部 電子計算機センター	技手
1990年 4月	同	講師
1999年 4月	同	基礎教育系列 講師
2001年 4月	同 情報環境学部 情報環境工学科	講師
2006年 4月	同 情報環境学科	講師
2007年 4月	同	准教授
2013年 2月	東京電機大学 博士(工学)取得	
10月	同 情報環境学部 情報環境学科	教授
2017年 4月	同 システムデザイン工学部	
	デザイン工学科	教授



埼玉鳩山キャンパス12号館前にて

理工学部 学生環境推進委員会

大学同窓会奨励賞受賞

～学内のさらなる環境維持・改善に向けて～

副委員長 小高 茜(理工学部 生命理工学系3年)

収穫した人参



学生環境推進委員会は、49名(1年生25名、2年生8名、3年生16名)で活動しています。毎月1回の清掃活動(クリーン鳩山)、エコキャップ回収、畑での野菜収穫、放射線測定、水質調査などといった様々な活動があり、それぞれの班に分かれてこれらを担当しています。今回はその中から、クリーン鳩山、エコキャップ回収、畑での野菜収穫についてご紹介します。

まず、クリーン鳩山についてです。毎月1回、埼玉鳩山キャンパス内を歩き、落ちていたゴミを回収する活動です。職員の方々にもご協力いただき、全員でゴミ袋とトングを持って巡回します。植え込みや校舎裏、道路脇といった見えにくい場所にも小さなゴミが落ちていることがあります。それも見逃さず拾います。こうしてキャンパスの綺麗な環境維持に努めています。

続いて、エコキャップ回収についてです。ペットボトルのキャップを分別して捨ててもらい、そのキャップを

班員が回収するという活動です。キャンパス内のゴミ箱の横には、エコキャップ回収BOXを設置しており、ペットボトルを捨てる時にキャップをこのBOXに入れてもらうようにしています。これによりゴミの分別に対する意識改革、ペットボトルなどの資源リサイクルに尽力しています。

そして、畑の野菜収穫についてです。12号館横にある畑で、季節の野菜を育てています。土を耕すことから始め、今年人参を育てて収穫しました。採れた人参は素揚げにして食べましたが、とても美味しかったです。野菜を育てる大変さ、喜び、そして食べる楽しみを知ることができました。

このような活動が評価され、光栄にも大学同窓会による奨励賞を受賞させていただきました。今までの活動を維持しつつ、さらなる環境維持および改善に向けた取り組みができるよう、これからも精進していきたいと思います。



毎月1回のクリーン鳩山



野菜収穫のため土を耕す

計算言語学研究室

～人の知的活動を支援するための自然言語処理～

未来科学部 情報メディア学科
大野 誠寛 准教授



人は、文書やWeb、対話などを通じて、様々な情報を獲得し、整理し、また発信しています。言葉(自然言語)は、このような知的活動を行うために必要不可欠であり、日々、大量に生成されています。本研究室では、この大量の言語情報を有効に活用・処理し、人の知的活動を支援することを目指して、自然言語処理に関する研究を推進しています。具体的には、形態素解析や構文解析などの基盤技術から、テキスト作成支援や音声対話などの応用技術まで、幅広く自然言語処理技術の開発に取り組んでいます。

基盤技術の研究では、主に話し言葉を対象とした構文解析に関する研究を推進しています。音声対話や音声翻訳、音声検索などのシステムにおいて、キーワードベースの処理から脱却した、より豊かな処理を実現するためには構文解析技術が不可欠です。話し言葉の解析では、書き言葉に対する解析とは異なる様々な要求に対処する必要があります。

このうち、(1)非文法的な言語現象に対する解析の頑健性、(2)極端に長い文に対する解析の効率性、(3)話し手の話速に追従した解析の漸進性を備えた係り受け解析技術を開発しています。その他、日本語学習者が始めに学ぶ仮名のべた書き文の形態素解析など、所謂キレイな文(例えば新聞記事文)とは異なる読みにくい文を対象とした言語解析に取り組んでいます。

一方、応用技術の研究では、主にテキスト作成支援に関する研究を推進しています。人が普段、意識せずに即興で生成する言葉は推敲されたものではないため、その中には読みにくい文が頻出します。そのため、議事録や科学技術論文、製品マニュアル、ビジネスメールなどの作文支援を目的に、読みにくい文を読みやすい文に整形する手法を開発しています。これまでに、読みにくい語順を読みやすく整える手法や、読みやすい位置に読点を自動挿入する手法などを開発しています。



学生と研究データに関する打合せをしている様子



学会の発表練習

新しい時代を拓いた科学・技術 vol.16

アレサンドロ・ボルタ イタリア ● 1745年～1827年

電池を発明、名前は電圧の単位に

電池の発明は、「人類発明至上最大の驚異」と評された

当たり前とされることを疑い、確かめていった

感電の見世物などで電気が流行した時代のこと。イタリアの解剖学者カルヴァーニは、電気火花を死んだカエルに当てると筋肉が痙攣することを発見し、動物の体に電気があると考えました。一方、物理学者のボルタは、静電気を起こす電気盆の実験を経て、2種類の金属と電解液で電池ができることを発見。1800年、銅と亜鉛の板に希硫酸(電解液)で湿らせた厚紙をはさみ、直列に接続した「ボルタ電池」を完成させました。これにより、世界で初めて、継続的に定常電流を得られる装置が誕生。カルヴァーニとボルタの論争は、ボルタに軍配があがり、静電気から動電気への時代が開かれました。ボルタの名は電圧の単位「ボルト」(記号はV)に。ナポレオンから爵位を与えられたことも、知られています。



©TDU

乾電池を世界で初めて開発したのは、屋井先蔵という日本人です。下級武士の子で、13歳で神田の時計店で丁稚奉公、21歳で工業学校受験に失敗。1885年、湿電池で正確に動く「連続電気時計」を発明したのですが、液体電池はもち運びが不便。そこで屋井は大学の職工となり、1887年、炭素棒にパラフィンを含浸した「乾電池」を発明、会社を設立。乾電池は量産化され、屋井は「乾電池王」と呼ばれました。



当日は学内外から63名の方が参加

第13回産学連携交流会 with 東京電機大学 ～最先端の見守りシステム～

研究推進社会連携センター(産官学交流センター)

研究推進社会連携センター(産官学交流センター)では、地域企業の活性化を目的とした産学公連携促進活動を展開しています。

11月21日に東京千住キャンパスにて、足立区と連携し第13回産学連携交流会 with 東京電機大学を開催しました。当日は4名の講演者より、保育園内の環境管理や、園児・高齢者の見守りとしてIT・IoT技術が活用されている最新技術について、また大雨や局地的な豪雨に対しての水害からの見守り等の研究成果を紹介し、63名の方にご参加いただきました。

ご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

●講演テーマと講演者

「画像処理による園児幼児の見守り支援に関する研究」

工学部 情報通信工学科 長谷川 誠 教授

「見守りと人間モニタリング技術」

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 鈴木 聡 教授

「創業から想業へ

ーネットミル お元気安心システムの開発ー」

志幸技研工業株式会社 代表取締役 吉川 裕 氏

「雨降りビューワによる水害からの見守り」

研究推進社会連携センター 小林 亘 教授



小林亘教授による研究成果紹介



展示作品の細部まで鑑賞

オルセー美術館リマスターアート展 ～技術でひもとく名画のひみつ～

総務部(企画広報担当)

10月23日から11月4日に東京千住キャンパスにて、オルセー美術館リマスターアート展を開催しました。ミレー作「落ち穂拾い」やモネ作「日傘の女」など、フランス国立オルセー美術館公認のリマスターアート(レプリカ)10点を1号館の電大ギャラリーに展示しました。

会場では、入口に用意された虫眼鏡とライトを持って展示作品の細部まで鑑賞することができ、来場者の方から「普通の美術館では体験することができないほど近距離で鑑賞ができた」と好評をいただきました。平日の午後になると近隣の小学生や幼稚園児も訪れ、模写やぬり絵を体験する子供たちで賑わいました。

また、工学部情報通信工学科の画像処理研究室(長谷川誠教授)からは、「顔認識システムを用いた絵画の疑似立体視検討」と題する3Dに見える絵画のアナグリフ映像を展示しました。体験された方々は、赤と青のレンズをかけると絵画の中の人が飛び出して見えることにとても驚いた様子でした。

期間中は、学園祭(旭祭)とホームカミングデーも開催され、約2,000名の方にお越しいただきました。電大ギャラリーでは、今後も地域の方々にお楽しみいただけるイベントを開催しますのでよろしくお祈いします。



模写に挑戦する小学生

東京千住キャンパス

CRC(研究推進社会連携センター)フォーラム



11月29日に、第17回CRCフォーラムを開催しました。人工知能の研究に様々な分野から携わる4名の研究者による研究紹介およびパネルディスカッションを開催し、200名を超える方にご参加いただきました。

特にパネルディスカッションでは、研究者間の意見交換だけでなく、参加者からの質問も多くあり、今後の研究のさらなる深化へのきっかけとなる有意義なフォーラムとなったと考えられます。

(研究推進部 深澤)

埼玉鳩山キャンパス

国際野外の表現展 2018-19



今年も国内外のアーティストの方々がキャンパスの自然を活かしたアート作品の作成・展示を行う国際野外の表現展2018-19がスタートしました。テーマは、サイトスペシフィックアートと地域創造です。

作品の展示期間は来年7月31日までで、大学事務室と守衛室にて作品展示マップの配布を行っています。キャンパスの自然を楽しみながら芸術鑑賞はいかがでしょうか。

(理工学部事務部 高木)

東京小金井キャンパス

東京小金井キャンパス人工芝化

施設充実のため、中学校・高等学校のグラウンド人工芝化工事が11月末をもって完工しました。東側の木を刈込み、少しばかりグラウンドを広げ、サッカーコートも少し余裕が生まれました。サイドでも思いっきりプレーできます。

走り幅跳び競技場も加え、ラグビー、フットボール、ソフトボール、200mトラック、直線100m競技も利用できるグラウンドとなっています。

(中学校・高等学校事務室 中野)



News

一般入試・大学入試センター利用入試の出願開始～1月7日より～ 入試センター

1月7日より、一般入試・大学入試センター利用入試の出願が始まります。本学ホームページのインターネット出願サイトからご登録いただけます(登録開始は12月25日)。

受験生のみなさん、入学試験要項と一般入試過去問題集は既にお手元にありますか? 一般入試過去問題集は、出題教授陣による詳しい解説付きで、「こんなミスが目立った」など合格のためのアドバイスが満載です! 過去3年分(2018年度・2017年度・2015年度)を無料で送付しますので、ぜひ資料請求をしてください!



入学試験要項

過去問題集

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



宮保 憲治教授

鈴木 秀一教授

上野 洋一郎教授

システムデザイン工学部 情報システム工学科

齊藤 歩さん(4年)

篠原 峻輝さん(4年)

柳澤 宏伎さん(4年)

情報環境学部 情報環境学科(先端ネットワーク技術研究室)

公益財団法人 防衛基盤整備協会「情報セキュリティに関する懸賞論文」

優秀賞

平成31年1月22日



TDU_Craft.Lab

安部 賢二さん(3年)

阿部 行秀さん(3年)

鈴木 翔悟さん(3年)

林 直樹さん(3年)

武藤 大地さん(3年)

情報環境学部 情報環境学科

測位航法学会主催

GPS・QZSSロボットカーコンテスト2018

準優勝

平成30年11月11日



末吉 大輝さん(4年)

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグインLearnPressの複数の脆弱性(反射型クロスサイトスクリプティング、オープンリダイレクト、SQL インジェクション)を発見

脆弱性番号: CVE-2018-16173, CVE-2018-16174, CVE-2018-16175,

JVN#85760090

平成30年11月9日



清水 達也さん(4年)

理工学部 建築・都市環境学系(イメージセンシング研究室)

日本写真測量学会 学術講演会

論文賞

平成30年11月9日



久保 駿介さん

平成30年3月 未来科学研究科 情報メディア学専攻 修了

杉本 大輔さん

平成30年3月 未来科学部 情報メディア学科 卒業

日本セキュリティ・マネジメント学会

2017年度論文賞

平成30年11月3日

(受賞日順)

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。



北岡 佑太さん(4年)

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress 用プラグイン Event Calendar WDの格納型クロスサイトスクリプティング脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2018-16164, JVN#75738023

平成30年11月2日



田中 紘世さん(修士2年)

工学研究科 情報通信工学専攻(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

情報処理学会 コンピュータセキュリティ研究会

CSS 2018 奨励賞

平成30年10月24日



柳沼 啓斗さん(修士2年)

未来科学研究科 建築学専攻(建築構造デザイン研究室)

日本建築学会 第13回コロキウム構造形態の解析と創生2018

形態創生コンテスト2018 入選

平成30年10月18日



池田 開さん(4年)

川原田 健人さん(3年)

未来科学部 建築学科(建築・環境計画研究室)

日本建築学会 第13回コロキウム構造形態の解析と創生2018

形態創生コンテスト2018 入選

平成30年10月18日



齋藤 健人さん(修士2年)

工学研究科 電気電子工学専攻 電気電子システムコース(ナノエネルギー研究室)

日本材料学会 第4回材料WEEK 若手学生研究発表会

優秀講演賞「ベストプレゼンテーション賞」

平成30年10月23日



原 寛貴さん(修士1年)

駒澤 直登さん(修士1年)

未来科学研究科 建築学専攻(建築設計研究室)

学生を対象としたバイオマス発電用ペレット収蔵施設外装デザインアイデアコンテスト

最優秀賞

平成30年10月12日



永田 祐希さん(修士1年)

工学研究科 物質工学専攻(反応工学研究室)

日本化学会

平成30年度化学系学協会 東北大会

優秀ポスター賞

平成30年9月16日

(受賞日順)

後援会だより

父母懇談会 全日程が終了しました

9月15日から12月2日にわたり、地方10会場、キャンパス2会場(5回)において開催しました父母懇談会が終了しました。ご出席いただきましたご父母の皆様、誠にありがとうございました。

開催会場、出席人数は下表の通りです。



埼玉鳩山キャンパス会場での全体説明会

地方会場

日程	開催地	対象	出席組数	出席者数	会場ホテル
9/30(日)	高崎	全学部全学科	50組	79名	ホテルメトロポリタン高崎
10/7(日)	福島		11組	14名	ホテル辰巳屋
10/14(日)	札幌		16組	20名	札幌パークホテル
10/21(日)	名古屋		15組	25名	ホテルサンルートプラザ名古屋
10/28(日)	静岡		40組	63名	ホテルセンチュリー静岡
11/3(土)	甲府		9組	14名	ホテル談露館
11/11(日)	水戸		42組	65名	三の丸ホテル
11/18(日)	博多		14組	24名	ホテルクリオコート博多
11/25(日)	宇都宮		47組	72名	ホテルマイステイズ宇都宮
12/2(日)	岡山		10組	17名	ホテルメルパルク岡山
合計			254組	393名	

キャンパス会場

日程	開催地	対象	出席組数	出席者数
9/15(土)	埼玉鳩山	理工学部	404組	621名
9/22(土)	東京千住	情報環境学部	103組	152名
		システムデザイン工学部	102組	158名
9/29(土)	東京千住	未来科学部	254組	350名
10/20(土)	東京千住	工学部・工学部第二部1・2年生	294組	418名
11/10(土)	東京千住	工学部・工学部第二部3・4年生	244組	363名
合計			1401組	2062名

校友会だより

山梨テクノICTメッセ2018

校友会は卒業生への支援だけでなく、県支部長が地方父母懇談会に出席し、支部活動や卒業生の就職情報の説明を行い、大学の発展と広報を支援しています。今年、戸沢光昭山梨県支部長が甲府会場へ出席しました。

特に山梨県支部の活動は活発で、毎年11月にアイメッセ山梨(甲府市大津町)で開催される山梨テクノICTメッセにブースを設け、大学の広報と県内に在住する卒業生の情報収集に努めています。出展を始めて3年目となる今回は、11月15日～17日に卒業生が活躍する企業のドローン展示や大学パンフレットの配布等を行いました。



山梨テクノICTメッセ2018にて

「電大ガールズ」D-girls

現在、電大ガールズでは、アメーバブログおよびTwitterでの情報発信を行っています。アメーバブログでは、イベント情報はもちろん、電大ガールズメンバーの休日や研究室配属など様々な記事を投稿しています。

今回は、その中で「北千住にあるオススメのお店」を紹介しようと思います。北千住駅西口から歩いて2分の場所に、ドンレミーアウトレット北千住店さんというコンビニやスーパーに並ぶチルドスイーツの直営店があります。そこでは、ミルフィーユなどのケーキの切れ端が300円程度、パフェが160円程度で販売されています。見た目もかわいらしく、大変オススメです。

ブログでは、他のお店の紹介なども掲載されているので是非ご覧ください。

電大ガールズ ブログ▶ <https://ameblo.jp/tdu-girls/>



なんとこれ全部160円程度!

学生職員

働きながら夜間部で学ぶ ～ものづくりセンター勤務～

工学部第二部 電気電子工学科1年
吉田 海斗



私は、高校3年の1学期まで就職希望でしたが、東京電機大学で働きながら学べる「はたらく学生入試」の制度を知り、受験することになりました。入学前は仕事と勉強の両立ができるか正直不安でしたが、今ではこの生活を楽しめるようになってきました。

学生職員として、10時から17時まではものづくりセンターに勤務し、18時10分～21時20分は工学部第二部電気電子工学科で学んでいます。ものづくりセンターの業務としては、利用時の受付業務、3Dプリンターの操作方法

の説明やメンテナンスを担当しています。帰宅するのが23時を過ぎることから、休憩時間などに勉強し学力向上に努めています。

将来は、住宅等の電気工事の作業に従事する電気工事士を目指していますが、最近はものづくりセンターの設備に触れ、機械系にも興味を持つようになりました。また、働きながら学ぶ学生職員として、11月5日の朝日新聞朝刊でも紹介していただきました。今後は、電気、機械ともに知識や技術を身につけ、将来選択できる幅を増やしていきたいと思っています。



3Dプリンターのメンテナンスを担当



見学に来た中学生を案内

時代を越えて—東京電機大学の軌跡

大学発展期(2) | Vol.16 |

〈昭和36年～昭和52年〉

昭和44年、本学においてもセクト学生による学内の占拠、暴力事件などが発生したが、教職員の学園を守る情熱と努力、ならびに一般学生の協力により、他大学に比して軽微なうちに終息した。

昭和46年、蓮見孝雄が第四代理事長に就任。同年、情報工学研究所(初代所長 阪本捷房)ならびに東京電機大学研究振興会を設立した。

昭和48年、瀬藤前理事長が文化勲章を受章した。

昭和49年、阪本捷房が第二代学長に就任。丹羽学長は名誉総長となる。

昭和47年頃より、鳩山開発について外部の機

文化勲章を受章した
瀬藤象二 第三代理事長

関に委託して事前調査を行い、また学内に二つの懇談会を発足させ、さらに理事会において『鳩山校地開発基本構想』を作成し、これらに基づき、理工学部開設に向けて行動を開始した。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」
(一部読みやすく修正しています)

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

黙々とみち掃く老婆鳩の声
山峡を辿るトロッコ法師蟬
重陽や退院明けの初散歩

知多(絹川博之)

廻子(大園成夫)

七美男(松田七美男)

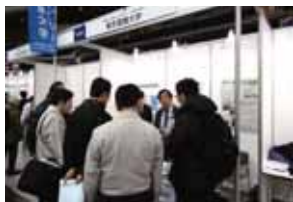
Information

彩の国ビジネスアリーナ2019 に出展

研究推進社会連携センター
(産官学交流センター)

彩の国ビジネスアリーナ2019は、中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上等を目的とし、広域的な企業間ネットワーク形成による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。本学も出展しますので、お時間があれば是非、足をお運びください。

日 時	1月30日(水) 10:00~18:00 1月31日(木) 10:00~17:00
場 所	さいたまスーパーアリーナ さいたま新都心駅西口徒歩3分
内 容	<技術・製品展示会> 展示ブースにおいて、来場者や他の参加者との情報交換・商談等 <講演会> 最新の技術動向や企業経営に資するテーマのセミナー・講演会
入 場	無料
特設サイト	http://bizmatch.saitama-j.or.jp/
お問合せ	研究推進社会連携センター (産官学交流センター) Tel. 03-5284-5225



平成30年度 博士・修士論文 および研究成果発表会開催

東京千住キャンパス事務部
(教務担当)

本学大学院先端科学技術研究科、工学研究科、未来科学研究科の大学院生による研究成果をパネルで展示・説明するポスターセッション形式の合同発表会を開催します。

また発表に先立ち、東京工業大学の中島求教授による講演会も開催します。

日 時	2月8日(金) 13:00~17:00 (受付開始:12:30)
場 所	東京千住キャンパス 北千住駅東口(電大口)徒歩1分
内 容	13:00~14:20 講演会 (会場:1号館2階丹羽ホール/ 定員(一般)先着60名) 演題 力学シミュレーションがスポーツ 科学を変える 講師 東京工業大学 工学院 システム制御系 中島 求 教授 14:30~17:00 博士・修士論文研究成果発表会 (会場:2号館各教室)
入 場	無料
お問合せ	東京千住キャンパス事務部 (教務担当) Tel. 03-5284-5333



編集後記

2018年最後のTDU Agora発行となりました。1年を振り返ってみると色々と反省もありましたが、たくさんの方に力を借り、ご協力いただいたおかげで発行することができました。これからもより多くのニュースを皆様にお届けしたいと思います。2019年もどうぞよろしくお願いいたします。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。

